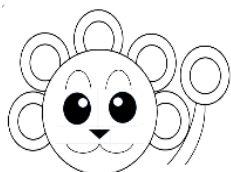
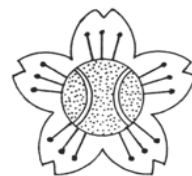


令和8年6月30日発行

横浜市立六浦小学校 学校だより



むつうら



本校教育目標:つながる なかま まち いきいき 六浦っ子
～持続可能な「花鳥風月」の学校づくり～

花鳥風月とともに 心身を耕す

副校長 田中 牧子

日頃より保護者の皆様、地域の皆様には子どもたちの安心、安全のためにご尽力いただきましてありがとうございます。

4月から朝、正門で子どもたちを出迎えていると、「この花は何ていう花ですか?」「先生、友だちがお腹痛いって泣いてる!」「途中で転んじゃった。」と子どもたちが報告しにきます。午後には「朝はありがとうございました。治りました!」と伝えにきてくれる子もいます。素敵な子どもたちとの会話に心があたたかくなる日々です。

ある日、正門の花鳥風月ボランティア募集ポスターを指差して「先生、僕、このボランティアに登録します。」と、1人の児童が話しかけてきました。「うれしい!ありがとうございます!火曜日の昼休みに待ってるよ!」とその子に伝えました。「もう一人、友だちも登録するからね。」と笑顔で言うてくれました。2人の児童は花鳥風月ボランティア任命書を受け取り、正式メンバーに加わりました。それから毎週火曜日の昼休み、ボランティアの方々と一緒に草取りや種まきをしています。自然あふれる六浦小学校の校庭は、たくさんの方々のサポートで維持管理されています。

雨が降れば草花はいきいきと背丈を伸ばし、花を咲かせる準備をします。池には何種類ものトンボが、プールには鴨もやってきます。身近にある自然という環境の中で、様々な発見をし、疑問が生まれると、それらはすぐに学びに発展します。また草花に集まる生き物の生命そのものを目の当たりにしながら学ぶことができます。

今、多様性の時代と言われており、個性や良さを互いに知り、生かし合いながら過ごすことが重要です。その第一歩は、自分は大事な唯一無二の存在なんだ、自分の命はとても尊いものだと思えることだと思えます。学校には、あなたはあなたのままで、それでいいんだよと丸ごと受け止めてくれる大人たち、共に成長を喜び合う仲間たちがたくさんいるはずです。六浦小学校をいろいろなシーンで支えてくださる皆様と手を携えて、児童一人ひとりがのびのび成長し、自分らしい花を咲かせ実を結ぶことができるよう、心も身体も健やかに耕していきたいです。六浦小学校の四季の移り変わりを楽しみにするとともに、他の職員と一緒に子どもたちの成長や輝きをたくさん見つけていきます。今後ともご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



校舎側の紫陽花

プール設備工事に関しまして、保護者の皆様、児童の皆さんには大変ご心配をおかけしました。排水弁の故障が分かり緊急工事となりましたが無事に完了し、遅れておりました水泳学習をスタートしました。安全に学習を進めてまいります。